

我が職場の安全活動について

小坂宮林署 石丸 武男

はじめに

私たちの職場小坂担当区では、昭和48年10月以降今日まで、6年連続無災害（昭和54年12月末現在延162,880時間）の記録を達成し、現在なお継続中である。このことは、作業内容や環境変化の伴う、仕事をしていくなかで、全員が一丸となって、安全活動に努力してきた成果であり、災害のない明るい職場で働ける喜びを味わっているところである。この機会に私たちが、署の安全衛生活動実施計画の趣旨に沿い、皆で話し合い、皆できめて、皆でやっている、安全活動の取り組みについて報告したい。

1. とりくみの目標

- (1) 安全に対する自覚と意識を高める。
- (2) 班の和づくりに努める。
- (3) 健康管理を充実させる。
- (4) 家族の理解と協力を得る。

2. 具体的に活動をどう進めているか。

- (1) 安全に対する自覚と意識を高めるために。

安全職場の確立は、1人1人の自覚と全体の意識を高めることが第一と確認し、そのための活動の中心を毎日交替で、担当する安全当番におき、その任務を位置づけて、常に当番は、その日の安全活動のリーダーとなり、作業仕組、地形等の環境変化に即応した、安全作業の呼びかけをする。また不安全行動をしている者には、遠慮やためらいのない注意をするなど、自分の当番の日には、絶対に災害を出させないという、責任に徹することにより、安全に対する個々の自覚と連帯制の責任感が強まり、意識を高めている。

また担当区では、年度始めに1人1題以上の安全衛生標語を全員から募り、署で応募作の審査をしてもらい、担当区独自の推選順位をつけるなどして、安全に対する思考力をつけ、意識の高揚に役立てるほか、次のことに取り組んでいる。

ア 今日の安全当番は誰であるかを、皆に知らせるために、立看板に当番の氏名を表示する。

(図-1)

イ その日の 300 事故は、日誌に記入するだけにとどめず、その日のうちに口頭で全員に知らせ、危険の注意を喚起させる。

ウ 全員の安全標語を作業現場入口地点の目につきやすい所に立看板で標示する。(図-2)

(2) 班の和づくりのために。

班内では、何時でも気楽に話し合いができるように努めているが、ときには意見の対立が生ずるが、その「シコリ」は、決して仕事場へ持込まないようにしている。そのために、あるテレビでヒントを得て、鏡と笑い袋を利用した、「笑いの練習機」を休憩所の出口、または立看板に取付けて、自分の顔を鏡に写し笑い袋の力もかりて、みんな笑顔で仕事に取りかかるようにしている。

(3) 健康管理を充実するために。

出勤時に顔色をうかがい合い、体の具合の悪い者には、早目に診察を受けるようすすめるなど、お互いの健康に十分注意し合っている。また最近の高令化によって、腰痛、肩こり、手足のシビレ等を訴える者が多くなってきたが、青竹健康法による、自重指圧器を作り(図-4)、職場の休憩時や家庭で使用している。今後も長期に使用して、その効果を期待したい。

(4) 家族の理解と協力を得るために。

家庭は私たちの職場への発車駅であり、また一日の労働の疲れを解す、終着駅である。奥さんを中心とした家族の理解と協力が、私たちの安全職場を支えている。職場と家庭をパイプを通じて、結ぶために、次のことがらに取り組んだ。

ア 安全に対する家族の意識調査

昨年6月に奥さんを対象に、アンケートによる調査をした。その集約結果(別表)を、安全活動の参考に生かしている。

イ 家族懇談会の開催

アンケート調査で多くの賛成を得たので、各奥さんの参加しやすい日曜日の晩に、班長宅にて同席の経営課長に助言をしてもらいながら、懇談会を開いた。なかでも主任が製作した、8ミリ映画の「わが職場の紹介」で、各主人の植付、下刈等の仕事を観てもらい、奥さんから歓声があるなどして、仕事の理解を深めるために役立てた。話し合いでは次の主な意見が出された。

(ア) 私の主人はミニバスの運転するときがありますが、冬山では道路が凍結して特に危険だそうです。多勢の人を乗せているため心配です。主人が運転する前の晩には、早く寝て体を休めるよう、家族で協力しています。

(イ) 私の主人は冬は製品事業で働いていますが、セット作業のため仕事がうまくできなかった日には、責任を感じて心配します。そんな時には父ちゃんに、クヨクヨしないよう、励まします。

(ウ) 私の主人は夏季の下刈には、汗で下着がぬれるので、3枚も山で着替えてきます。この時期には特に食物の栄養のバランスに気をくばります。

(エ) 主人の働く現場見学や、休日を利用して主人も一緒に家族の懇親会をやったらどうでしょう。

3. よりよい活動を推進するために

主任、補助員が、常に意思の疎通をはかり、皆の先頭に立って、看板を作り、安全情報の標示などを率先してやるほか、歩道の危険か所の修理や、作業の段取りなど積極的に取り組み、作業と安全の結びつきを定着させて、皆の理解と信頼を深めて、協体制度を強めるよう努力している。

4. おわりに

今私たちの職場では、他の担当区から9名の仲間が来て、除伐、枝打ち等冬山事業を一緒に取り組んでいる。この仲間たちにも話し合いにより理解を深めてもらい、限りない安全活動に、皆の創意工夫を取り入れて、更に一丸となって、わが職場の無災害記録を持続していこうと誓い合っている。

日頃の取り組みを報告し、これが地から湧き出た活動の一端と理解されれば幸いです。

図1

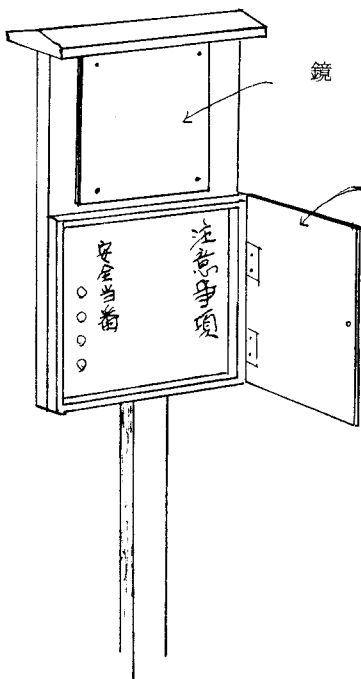


図2

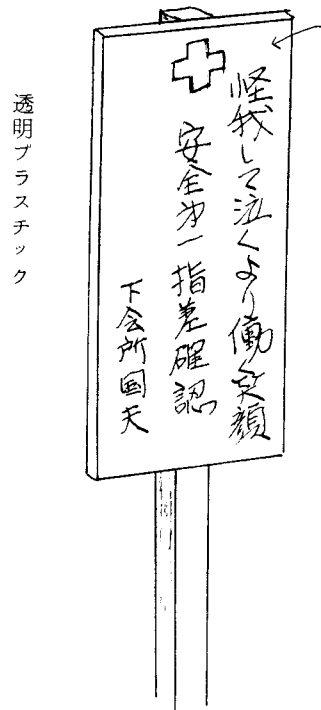


図3

B紙に標語を書き、透明ビニールで覆う

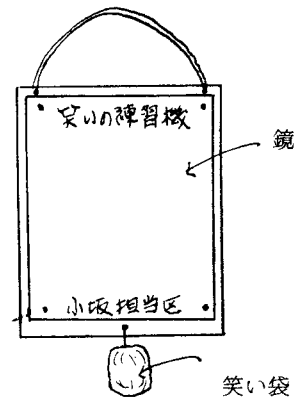
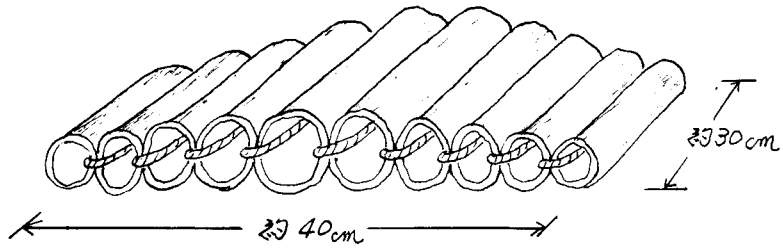
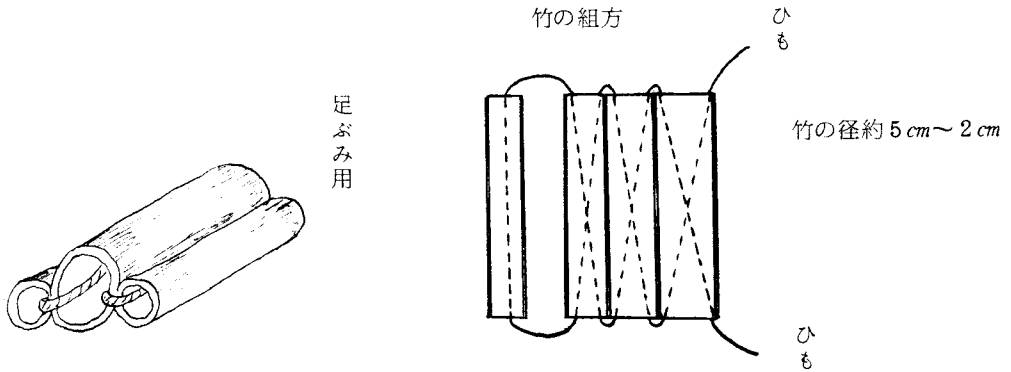


図4 青竹健康器



腰痛肩こり予防用



奥様へ

アンケート調査について

日頃は、小坂担当区の事業実行にあたり、なにかと御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 私たちの取場では何時も御主人様と安全について話し合いを行い、絶対に災害を出さない明るい取場づくりに努力していますが、おかげさまで昭和48年10月15日以降今日まで無災害で、今年3月31日現在延145,120時間無災害取場の記録を保持しています。
 このことは、取場の第一線に御活躍されている御主人はもとより、奥様始め御家族一同様の日頃の御協力によるものと深く感謝しております。
 私たちは更に日常の安全活動を積極的に推進し無災害記録を延長するよう誓い合っています。
 つきましては、今後の安全活動の参考にするために別紙によりアンケート調査を実施することになりましたので、気楽なお気持ちで設問にお答え下さるようお願いいたします。

(別表) アンケート調査表

1. あなたは、主人がどんな仕事をしていのか知っていますか。
 ① 知っている (8) ② 少し知っている (3) ③ 知らない (1)

2. あなたの主人は、山の仕事の話をしますか。
 ① よくする (10) ② 時々する (8) ③ 少ししない (4)

3. あなたの主人は、どんな仕事をしたとき一番つかれたと言われますか。
 ① 下刈 (4) ② 除伐 (10) ③ 地帯 (10) ④ その他 (8)

4. あなたの主人は、何曜日が一番つかれていふと思われますか。
 月 (10) 火 (10) 水 (12) 木 (6) 金 (4) 土 (10)

5. あなたの主人の朝起について
 ① 自分で起す (6) ② 毎朝起す (1) ③ 時々起す (5)

6. あなたは朝、主人に言葉をかけて送り出しますか。
 ① かける (8) ② 時々かける (2) ③ かけない (2)

7. あなたは暑を行なう主人の健康診断結果を知っていますか。
 ① 知っている (10) ② 知らない (2)

8. 家族懇談会(親ほく会)を一度も催したいと思いませんか。参加したいですか。
 ① 参加します (7) ② 参加しない (2) ③ わからない (1)

9. 家族懇談会の時期
 ① 春 (1) 夏 (4) 秋 (1) 冬 (3) ② 夜 (4) 昼 (2)

10. の方法について
 ① 部落の集会所で
お茶を飲みながら (6) ② 近の温泉で
湯に入りながら (2) ③ 泊旅行 (10)

11. その他安全に関する御意見
 ミニバス運転中は必ずシートベルト着用